

【静岡県賀茂郡南伊豆町】
1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

文部科学省のGIGAスクール構想に基づき、町が導入した1人1台端末を始めとする小中学校のICT環境を、学校教育のあらゆる場面で活用することで、全ての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」、「協働的な学び」及び「学びの継続」の実現を目指す。学習の基盤の一つである情報活用能力等を育成することにより、「Society5.0時代」での様々な課題に柔軟に対応できる人作りを目指す。

2 GIGA第1期の総括

ネットワーク整備及び1人1台端末の整備などの環境整備とともに、教職員・児童生徒用アカウントの付与、学校のICT推進に係る委員会の立ち上げ及びICT教育アドバイザーの配備などの体制整備を実施し、当初の予定通り学校のICT推進に係る包括的支援を実施した。

また、授業支援、家庭学習支援及び校務支援の各分野にクラウドサービスを導入し、教職員及び児童生徒が日常的に端末を活用できる環境を整備した。

その結果、教職員については、校務の一部クラウド化による業務時間の削減及びチャット機能を活用したコミュニケーションの活性化など、ICTを導入したことによる成果があった。児童生徒については、町内学校間をインターネットでつないだ遠隔授業を実施した。これまで距離や時間の都合で実施が限定的であった学校間交流について、今後もICT活用により活性化することが見込まれている。

一方で、ICT利活用を推進する状況下において、情報資産の取り扱いに疑義が生じる場面が増加している。

今後、クラウドサービスの活用機会が増加することも考慮し、セキュリティポリシーの見直しを実施し、併せて学校への研修を実施する。

3 1人1台端末の活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

GIGAスクール構想第2期においては、ICT活用機会がさらに増加し、事業支援及び家庭学習におけるクラウドサービス活用が見込まれるため、引き続きICT支援員を学校に配置し、ICT活用を推進する。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

個別最適な学びを実現するため、AI教材を活用し、児童生徒1人ひとりに合わせた学習を提供する。

また、協働的な学びを実現するため、オンライン学習及びグループワークツールなどを活用し、学習手法の拡充を図る。

(3) 学びの保障

特別な支援を要する児童生徒の実態に応じて、学びの保障を目的としたクラウド型サービスの活用など、学校外においても学習ができる環境を整備する。